

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現									B 鑑賞		
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞		
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
A	■ 歌詞の内容や曲想を捉えて ● 青空へのぼろう p.4 ● アニー・ローリー p.10 △ 夢の翼 p.8 △ エーデルワイス p.14 ・Let's Sing! 歌うための準備 p.6 ・Let's Sing! 変声と混声合唱「こげよマイケル」 p.12	5	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現しよう		○	○			○						
評価の観点															
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力						
歌詞の内容や曲想、リコーダーの特徴に関心を持ち、基礎的な技能や奏法を身に付けて表現する学習に主体的に取り組もうとしている。			音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取りリコーダーの特徴を捉えた音楽表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。			歌詞の内容や曲想、リコーダーの特徴を生かした音楽表現をするために必要な、基礎的な技能や奏法を身に付けて表現している。									

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現						B 鑑賞								
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作		(1)鑑賞						
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	ウ				
C	■ 言葉のリズムや唱歌を生かして ● 楽しいリズム曲をつくろう p.52 ● 太鼓のための音楽をつくろう p.60 ・Let's Try! 言葉のリズムで楽しもう 「くいしんぼうのラップ」 p.54	4	言葉のリズムや全体のまとまりを感じ取り，声部の役割を生かして表現を工夫しよう															
評価の観点																		
音楽への関心・意欲・態度				音楽表現の創意工夫				音楽表現の技能				鑑賞の能力						
言葉のリズムや反復，変化，対照などの構成，全体の響きに関心をもち，音楽表現を工夫しながら音楽をつくったり合わせて演奏したりする学習に主体的に取り組んでいる。				リズム，速度，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら，言葉のリズムや反復，変化，対照などの構成，全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し，どのように音楽をつくったり合わせて演奏したりするかについて思いや意図をもっている。				言葉のリズムや反復，変化，対照などの構成，全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくったり演奏したりしている。										

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現									B 鑑賞					
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞					
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ			
D	■ 歌詞と旋律との関わりを感じ取って ●夏の思い出 p.16 ●赤とんぼ p.20 ●日本語の抑揚を生かした旋律をつくらう p.56 ・Let's Try! 指揮をしてみよう p.22	4	言葉と旋律との関わりを感じ取って表現を工夫しよう	○	○													
評価の観点																		
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力									
曲想や言葉の特性に関心を持ち、それらを生かして歌ったり簡単な旋律をつくったりする学習に主体的に取り組もうとしている。			リズム、速度、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想や言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌ったり旋律をつくったりするかについて思いや意図をもっている。			曲想や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌ったり簡単な旋律をつくったりする。												

トピック	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現						B 鑑賞					
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞		
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
E	■ 郷土の民謡や芸能の魅力 ● ソーラン節 p.24 ● ◎かりぼし切り歌 p.25 ● ◎日本の民謡と芸能 p.40	3	郷土の民謡や芸能の特徴を理解し、我が国の音楽の多様性を感じ取ろう		○										○
評価の観点															
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力						
曲種に応じた発声や言葉の特性、我が国や郷土の伝統音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、それらを生かして歌う学習や鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。			曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。			音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、我が国や郷土の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。						

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現									B 鑑賞					
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞					
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ			
F	■ 曲想や声部の役割を感じ取って ● 海が明けるよ p.26 ● 希望という名の花を p.28	4	曲想や声部の役割を感じ取り、それらを生かした表現を工夫しよう			○			○									
評価の観点																		
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力									
曲想や声部の役割に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。			速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、曲想や声部の役割を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。			曲想や声部の役割を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。												

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現						B 鑑賞					
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞		
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
H	■ 箏の表現を味わいながら ●◎箏曲「六段の調」 p.42 ●◎日本とアジアをつなぐ音 p.46 ●Let's Try! 箏(こと)を弾いてみよう「さくらさくら」 p.58	4	箏の表現を味わいながら、音楽の特徴を生かして表現したり鑑賞したりしよう					○							○
評価の観点															
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力						
箏の特徴、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、基礎的な奏法で演奏する学習や鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、箏の特徴を捉えた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。			箏の特徴を捉えた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法を身に付けて演奏している。			音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。						

トピック	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現									B 鑑賞					
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞					
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ			
I	■ 曲想を豊かに感じ取って ● 四月のいのちの歌 p.30 ● ◎「春」から第1楽章 p.32	4	曲想を感じ取りながら声部の役割を生かして表現したり、音楽の構成を理解して鑑賞したりしよう	○												○		
評価の観点																		
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力									
歌詞の内容や全体の響き、音楽の構造と曲想との関わりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習や鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。			歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。			音色、旋律、テクスチュア、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。									